



ほむる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
【今月の一冊】 OUTPUT
樺沢 紫苑 著 サンクチュアリ出版
ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2018年9月1日 Vol. 191
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
ライフコンサルタント 渡邊 敏徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

気象災害

今年は梅雨明けがかなり早かったこともあり、とても長い“夏”を経験しています。身体がかなり疲弊しているように感じます。また、日本各地で台風や地震による大規模な災害が発生し、甚大な被害が発生しました。デジタル大辞泉によれば『気象災害』とは、気象現象が主な原因となって生じる災害。洪水・風害・霜害・冷害・干害・雪害等のことを言うそうです。

7月23日、埼玉県熊谷市では最高気温が摂氏41.1度という観測史上最高気温を更新しました。また、東京でも青梅市は40.3度の記録更新をしました。なんと40度以上の都市が3箇所、全国927観測点のうち148地点が35度以上の猛暑日になったそうです。

ちなみに人間の体は40度を超えると全身痙攣が起こると言われています。また、血液が固まらなくなる症状も起こります(血液凝固障害)。これは体の中心部の体温(深部体温)で40度を超えるケースです。

2年後に開催予定の東京オリンピックは本当に大丈夫なのでしょうか。選手はもちろんのこと、観光客対策や新国立競技場などの冷房施設がないところの対策が心配という声も随分出てきました。当然“暑さ”も『気象災害』に入ります。

このような状況下において一番影響を受けるのは、やはり子どもたちや高齢者になります。学校などの施設には1日も早く冷房施設の設置が急務となります。まだまだ暑さが続きますので熱中症対策が求められます。水分補給、塩分補給、夜ぐっすりと眠れる環境づくり、日頃の体調管理など自分で出来る熱中症対策をする必要があります。

もしも熱中症になってしまったら、涼しい場所に避難、服を脱ぐ、水をかける(それに風を当てると効果的です)、氷のうなどがあれば太い血管の通っているところにあてる。首すじ、脇の下、大腿の付け根、股関節等、水分、塩分の補給(スポーツドリンクも可)などです。やはり後は、病院に行くことですね。

損害保険の仕事をしている関係上、自然災害による損害と地震による損害がとても気になります。

被害の状況も年々増加し大規模化しています。保険内容の見直しや災害に強い家づくりなど少しずつ進めていく必要がありますね。



働き方改革

「働き方改革関連法案」が成立しました。「働き方改革」の法案の3つの柱は、(1)働き方改革の総合的かつ継続的な推進、(2)長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現等、(3)雇用形態にかかわらずの公正な待遇の確保労働者です。私はこの「働き方改革」という話を聞いたたびに何か違和感がありしっくりきません。なぜ個人の働き方をここまで法律で決めなければならないのでしょうか。もっとシンプルに考え、労働者自身が自分の働き方を自由に決める権利を尊重すべきだと思うのです。自由な労働市場に基づきより良いサービスを規制緩和と経営改革を通じて実現することが重要だと思います。

働き方は“生き方”を決めるのにとっても重要なものです。その働き方を法律で決めることは“生き方を法律化”することになるのではないかと感じてしまいます。

今や経済の発展が目覚ましい中国では、役所は土日もやっています。また、銀行も土日営業しています。夫婦が共に働く中国では、行政サービスや金融サービスは仕事時間外に受けるのが当たり前です。日本の銀行が15時までと言う今までの常識に囚われていては、グローバルな時代から取り残されてしまうような気がします。

AIなどの技術の発達により「働き方」は大きく変化することが言われています。私たちが働き方を考える上で「何のために働くのか」ということをもう一度考えることが大切なのだと思います。



【座右の銘にしたい名言】



人生とは自転車のようなものだ。倒れないようにするには
走らなければならない。

(アルベルト・アインシュタイン/理論物理学者)